

### ● ブロックチェーンの土地登記への応用の動き

近年のFintechブームの中で注目されつつある「ブロックチェーン」は、ビットコイン等の価値記録の取引履歴を、第三者機関が集中管理するのではなく皆で共有することによって、取引の信頼性を確保するというものである。このシンプルな仕組みゆえに、ブロックチェーンの技術は、金融に限らず幅広い分野に応用できる可能性を有している。

とりわけ土地・不動産分野においては、土地の登記など権利移転等の情報を、ブロックチェーンを構築して管理することが構想されており、既にいくつかの試行的取り組みが始まっている。

スウェーデンでは、国内における土地・不動産の登記をブロックチェーンによって行う試みを始めている。地理情報と不動産台帳の管理業務を担当するスウェーデン国土調査庁(Lantmäteriet)は、ブロックチェーンのスタートアップ企業 ChromaWay、コンサルティング企業 Kairos Future、通信サービス企業 Telia とともに、人為的ミスリスク削減とよりセキュアな文書手続を目指して、2016年6月にこのプロジェクトを立ち上げた。現在デモ版 (<http://chromaway.com/landregistry/>) を提供中である。

土地登記へのブロックチェーンの技術の応用は今回が初めてではなく、ジョージア(グルジア)共和国やホンジュラスにおいて試行プロジェクトが立ち上がった先例がある。なお、2015年に立ち上がったホンジュラスのプロジェクトは交渉途上で行き詰まりの状態にあるという。

#### <参考資料>

Sweden launch leading blockchain solution for Land registry

<http://chromaway.pr.co/130410-sweden-launch-leading-blockchain-solution-for-land-registry>

Sweden Tests Blockchain Smart Contracts for Land Registry

<http://www.coindesk.com/sweden-blockchain-smart-contracts-land-registry/>

村上威夫「スウェーデンにおける土地情報の整備・開示と土地利用計画制度について(1)」土地総合研究 2004 春号

[http://www.lij.jp/html/jli/jli\\_2004/2004spring\\_p035.pdf](http://www.lij.jp/html/jli/jli_2004/2004spring_p035.pdf)